

令和4年度
「ひろげよう 育てよう みどりの都市」
全国大会

第一部 事例発表会

「公園緑地関連三賞受賞作品発表会 “今年の No.1 はこれだ”」

日時：令和4年10月28日（金）（9時30分～12時00分）

会場：日本教育会館 8階 第1会議室

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

第一部

事例発表会資料 目次

プログラム	1
-------	---

公園緑地関係三賞の概要

① 第 38 回都市公園等コンクール	2
②ランドスケープコンサルタンツ協会賞	4
③第 17 回一造会大賞	6

作品概要

2022 年ランドスケープコンサルタンツ協会賞

東京都立松沢病院のランドスケープと長期的な取り組み	8
大手町ビル SKYLAB	14

第 17 回一造会大賞

地域との繋がりを目指した取り組みと施工にあたる課題対策と小さな工夫	18
-----------------------------------	----

第 38 回都市公園等コンクール

金沢八景権現山公園～歴史的景観の継承～	22
市民のおもいを継ぐ英国式庭園	26
としまみどりの防災公園官民連携の取り組み	30

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

第一部

事例発表会 ―公園緑地関連三賞受賞作品発表会 “今年の NO.1 はこれだ” ―

日時：令和4年10月28日（金）（9時30分～12時00分）

会場：日本教育会館 8階 第1会議室

9:30～9:35	開会挨拶 一般社団法人日本公園緑地協会 会長		
9:35～9:40	趣旨説明 一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会		
受賞作品発表	コンクール名／作品名	受賞団体	発表者
① 9:40～10:00 (20分)	ランドスケープコンサルタンツ協会 2022年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 最優秀賞（調査・計画部門） 東京都立松沢病院のランドスケープと 長期的な取り組み	株式会社愛植物設計事務所 株式会社メディカルマネジメント松沢 東京パワーテクノロジー株式会社	(株)愛植物設計事務所 取締役 設計計画部長 山野 秀規
② 10:00～10:20 (20分)	ランドスケープコンサルタンツ協会 2022年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 最優秀賞（設計部門） 大手町ビル SKYLAB	株式会社三菱地所設計	(株)三菱地所設計 デザインスタジオ チーフアーキテクト 荒井 拓州
10:20～10:30	休 憩		
③ 10:30～10:50 (20分)	全国1級造園施工管理技士の会 第17回一造会大賞 一造会大賞 地域との繋がりを目指した取り組みと 施工にあたる課題対策と小さな工夫	株式会社石勝エクステリア	(株)石勝エクステリア 造園緑化事業部 工事部 工事三課 係長 武内 将司
④ 10:50～11:10 (20分)	日本公園緑地協会 第38回都市公園等コンクール 国土交通大臣賞（施工部門） 金沢八景権現山公園 ～歴史的景観の継承～	横浜市環境創造局 堀江造園株式会社 井原造園株式会社 馬淵建設株式会社 株式会社建文	横浜市環境創造局 公園緑地部 公園緑地整備課 南部担当係長 伊藤 香織
11:10～11:20	休 憩		
⑤ 11:20～11:40 (20分)	日本公園緑地協会 第38回都市公園等コンクール 国土交通大臣賞（管理部門） 市民のおもいを継ぐ英国式庭園	M P a r k s + P H O E N I X	(一財)みやざき公園協会 理事 永井 佐代子
⑥ 11:40～12:00 (20分)	日本公園緑地協会 第38回都市公園等コンクール 国土交通大臣賞（特定テーマ部門） としまみどりの防災公園 官民連携の取り組み	豊島区 独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部 日比谷アメニス・都市計画研究所・株木建設・NTTアーバンバリューサポートコンソーシアム	(独)都市再生機構東日本都市再生本部 基盤整備計画部 基盤整備課 担当課長 赤埴 文子

（敬称略）

※ 日本公園緑地協会「第38回都市公園等コンクール」国土交通大臣賞（設計部門）を受賞されたもう1作品「安満遺跡公園」 受賞者：株式会社空間創研、高槻市、独立行政法人都市再生機構 西日本支社 については第二部の報告で発表いただきます。

公園緑地関係三賞の概要

① 第 38 回都市公園等コンクール 募集要領より

■主催：一般社団法人日本公園緑地協会

■目的

都市公園等コンクール（以下「コンクール」という）は、供用を開始している都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設、管理運営に係る作品を広く募集し、特に優秀な作品の設計、施工、管理運営等を実施した者を表彰することにより、都市公園の設計、施工及び管理運営等の技術水準の向上および新たな時代の都市公園の創造に寄与することを目的とします。

■表彰内容

表彰は、部門ごとに次の各賞を授与します。

賞	設 計	施 工	材料・工法・施設	管理運営	特定テーマ
国土交通大臣賞	4 点以内				
国土交通省都市局長賞	1 点以内	1 点以内	1 点以内	1 点以内	1 点以内
(一社)日本公園緑地協会会長賞	2 点程度	2 点程度	2 点程度	2 点程度	2 点程度
審査委員会特別賞	数 点				

- ・国土交通大臣賞：全応募作品の中で技術水準が高く、今後の都市公園の模範となる最も優れた作品
- ・国土交通省都市局長賞：各部門における特に優れた作品
- ・(一社)日本公園緑地協会会長賞：各部門における優秀な作品
- ・審査委員会特別賞：将来性、創意工夫を感じる作品、または多大な努力を感じる作品

■募集対象

本コンクールのすべての部門の募集対象の都市公園等は以下の通りです。

都市公園法で規定する公園緑地（特定地区公園を含む）あるいは

都市公園で活用でき、公共性の高い以下の施設

- ・公園緑地に準じる機能を持つ施設（公共団体設置の運動場・グラウンド・墓園・広場等の公共空地、公共団体設置の市民農園、農業公園、公開している教育施設 等）
- ・民間施設緑地（民間設置の公開空地等）

■部門

本コンクールでは次の部門別で募集を行います。

①設計部門：都市公園等の全域もしくは一部区域の新設またはリニューアルに係る計画・設計

②施工部門：都市公園等の全域もしくは一部区域の新設またはリニューアルに係る工事

③材料・工法・施設部門：造園材料の開発・育成

工法・技術の開発、新たに開発された工法・技術を用いた工事、伝統的工法による工事
単体の公園施設の開発、設計、製作・施工

④管理運営部門：都市公園等の全域または一部区域における維持管理、運営管理、マネジメント

⑤特定テーマ部門：下記テーマに関する都市公園等の取組み。

今年度のテーマは

● 新たなライフスタイルに対応した公園

（・コロナ禍における新たな取組み）

（・リモートワーク・子育て等への対応） など

● 複合領域の連携により新たな価値を創出した取組み

（・Park-PFI 制度、設置管理許可制度、公設民営事業、立体都市公園、PFI 制度等の民間活力を導入した事業、等）

（・市民、NPO、ボランティアなど多様な主体の参画・協働）

（・道路（街路樹）、下水道、河川、観光、教育、福祉部門等との連携） など

■募集要件

応募に係る都市公園等は次の要件に該当するものとします。

【①設計部門／②施工部門／③材料・工法・施設部門】

- ・概ね5年以内に全域又は主要な区域が供用された都市公園等。（リニューアル等を行ったものを含む）

【④管理運営部門】

- ・管理運営の期間は概ね3年程度の実績があるものを基本としますが、効果の明らかな管理運営技術・手法等はこれによりません。

【⑤特定テーマ部門】

- ・特定のテーマを実現するために優れた設計・施工がなされ、概ね5年以内に全域又は主要な区域が供用された都市公園等（リニューアル等を行ったものを含む）。なお、管理運営については概ね3年程度の実績があるものを基本としますが、効果の明らかな管理運営技術・手法等はこれによりません。

【全部門共通】

- ・同一部門において過去に当コンクールに応募したことがない都市公園等。但し、過去に応募した都市公園等であっても、前回の応募時点に比べ、その内容に十分な改善等が図られているものであれば応募可能です。
- ・応募作品等に関わる設計、施工、管理運営等の瑕疵による事故等が起きていないこと。

※応募対象区域において、発生した事故等の責任が、主として、その設計、施工、管理運営に係るものと判断された場合のことを指します。なお、過去に事故が発生していても、すでにその対応を終えているものであれば応募要件を満たすものとします。

■応募資格

都市公園等の設計、施工、管理運営等を実施した企業（共同企業体を含む）、公益団体、非営利活動を行う団体、地方公共団体、政府機関等。なお、樹木その他造園材料を納入した企業等、材料・工法について新たに開発した企業等及びそれらにより施工した企業等も含みます。

複数者の連名による応募も可能です。

■審査委員

第38回 都市公園等コンクール審査委員会 委員名簿 （令和4年9月6日審査委員会開催時）

	氏 名	役 職
委 員 長	島田 正文	日本大学 特任教授
委 員	阿部 伸太	東京農業大学 准教授
〃	天河 宏文	国土交通省 都市局長
〃	池邊 このみ	千葉大学大学院 教授
〃	浦田 啓充	(一社)日本公園緑地協会 常務理事
〃	鈴木 武彦	船橋市 建設局長
〃	平田 富士男	兵庫県立大学大学院 教授
〃	山崎 誠子	全国女性造園技術者の会 副会長

(五十音順・敬称略)

②ランドスケープコンサルタンツ協会賞 募集要綱より

■主催：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会

■趣旨

一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会（以下、CLA）では、会員企業の技術研鑽と社会へのアピールを目的として、環境の保全と創造に寄与する、優れたランドスケープコンサルタント業務に対して、その功績をたたえ、「ランドスケープコンサルタンツ協会賞」（以下、CLA賞）を授与し、これを表彰しています。

■表彰対象・内容

- ・表彰対象は、優れたランドスケープコンサルタント業務を担当した組織及び個人とします。
- ・募集部門（下記参照）ごとに、以下の賞を選出し、表彰します。
 - ①「最優秀賞」（「優秀賞」の中で、最も優れたコンサルタント業務として評価されたもの）
 - ②「優秀賞」（優れたコンサルタント業務として評価されたもの）
 - ③その他（選考委員会の判断により、「特別賞」「奨励賞」等を選出することがあります）

■募集対象・部門

- ・募集の対象は、以下に示す「設計」「調査・計画」「マネジメント」の3部門の業務成果とします。
（発注者は官民を問いません）

部 門	内 容
①設計	庭園・公園・緑地・観光レクリエーション施設やその他の都市空間・自然的空間等の設計を行ったもので、応募時点で設計の主旨にしたがって竣工しているものを対象とする。
②調査・計画	緑の基本計画・景観基本計画・環境基本計画等の計画業務、及び、庭園・公園・緑地・観光レクリエーション施設やその他の都市空間・自然的空間等の調査・計画業務、環境アセスメント等のランドスケープ分野に関連する調査・計画業務で、応募時点で公表され、運用されているものを対象とする。
③マネジメント	公園等の管理運営業務やPark-PFIなどのパークマネジメントや、市民参加等によるイベントの運営、出版・シンポジウム等の普及啓発活動、自然環境や街並み景観などの保全・創造のための活動などを対象とする。

■応募資格・点数

- ・応募者は、CLA会員であることが必要です。
- ・応募連名者は代表者が選出した方で、誰でも可能です。
- ・応募点数は、それぞれの応募部門ごとに、1社2点以内（最大6点）とします。

■選考方法

選考は、選考委員会において、応募書類に基づく各部門それぞれ5つの評価項目について評価を行い、次に示す各部門共通の3つの「選考で考慮する視点」を踏まえて選考します。

【選考で考慮する視点】

- ①社会的課題解決力
- ②社会的評価の高さ（利用者数・満足度・メディア露出度等）
- ③ランドスケープ職能への貢献度

詳細は、CLAホームページにて確認してください。

【選考委員会】

（敬称略 50音順）

委員長	篠沢 健太	工学院大学教授
副委員長	内藤 英四郎	CLA監事
委員	石井 ちはる	CLA技術委員長
〃	伊藤 康行	国土交通省都市局公園緑地・景観課課長
〃	卯之原 昇	（一社）日本造園建設業協会資格制度委員長
〃	浦田 啓充	（一社）日本公園緑地協会常務理事
〃	木下 剛	千葉大学大学院准教授
〃	塚原 道夫	CLA広報委員長
〃	諸井 泰司	全国1級造園施工管理技士の会（一造会）技術部会長

2022年 ランドスケープコンサルタンツ協会賞 受賞作品一覧

部門	賞	作 品 名	会社名	受賞者名
設 計 部 門	最優秀賞	大手町ビル SKYLAB	株式会社 三菱地所設計	飯沼 安裕、荒井 拓州、安陪 泰司、加藤 周二、内山 竜太郎、 施原 弘樹、佐藤 琢也、糟谷 麻紘
	優秀賞	国指定名勝 戸定邸庭園の復元	株式会社 ヘッズ 東京本社	福留 正雄、加藤 修、矢吹 克美、加藤 茂男：㈱ヘッズ東京本社 清水 誠大、浦川 忠郎：アゴラ造園㈱
	優秀賞	エフビコアリーナふくやまのランドスケープ デザイン ～新たな原風景の創出～	株式会社 現代ランドスケープ	西辻 俊明、石井 佑介(元所員)：㈱現代ランドスケープ 外山 博文、石井 衣利子：㈱梓設計 今川 忠雄：今川建築設計
	優秀賞	川口市立グリーンセンター 遊育の森づくり	株式会社 グラック	北川 明介、西山 秀俊、井野 貴文、岸井 悠子、藤田 芽衣
	優秀賞	安満遺跡公園	株式会社 空間創研	家本 智、荘田 隆久、多田 祥子、立花 正充(故人)：㈱空間創研 岸田 威、和田 仁：㈱地球号 上田 哲生、村松 雄一郎：㈱オオバ 山本 和光、柴田 誠司、長崎 浩紀：中央コンサルタンツ㈱ 北伸 一朗、村井 俊彦、谷口 桃子：㈱INA新建築研究所
	特別賞	福岡県営天神中央公園 西中州エリア	株式会社 エステイ 環境設計研究所	澁江 章子、井口 直、森永 咲：㈱エステイ 環境設計研究所 平瀬祐子、平瀬有人：yha architects 松下 美紀、中村 元彦：㈱松下美紀照明設計事務所 庄司 雅之、鳥越 宗樹、金子 宏和：㈱エステイ設計
	奨励賞	大谷口二丁目児童遊園	有限会社 ブラネット・コンサルティング ネットワーク	岡島 秀子、岡島 桂一郎、鎌原 史英、北島 千恵里、高田 大貴、田中 宏樹
	奨励賞	豊四季台団地 (建替) 第IV期エリアのランドスケープデザイン	株式会社 総合設計研究所	志村 勝、石井 ちはる、武田 栄文、前川 和美：㈱総合設計研究所 有本 幸代、佐藤 浩幸、大崎 貴弘、稲葉 慈：独立行政法人 都市再生機構 照沼 博志、佐藤 文昭、山本 慶三、平田 智隆：山・集設計共同体
	最優秀賞	東京都立松沢病院のランドスケープと 長期的な取り組み	株式会社 愛植物設計事務所	山野 秀規、山本 紀久、橋本 恵、浦澤 柚花、倉田 香織、鈴木 美枝子： ㈱愛植物設計事務所 清水 律子、有馬 武郎：㈱メディカルマネジメント松沢 池田 真悟、小林 将史：東京パワーテックノロジー㈱
	特別賞	第38回全国都市緑化くまもとフェア くまもと花とみどりの博覧会	株式会社 アーバンデザインコンサルタン ト	大杉 哲哉、福岡 李奈、安部 あすか：㈱アーバンデザインコンサルタン ト 後藤 逸成、荘田 隆久、野見山 志帆、山川 弘子、徐 蓉：㈱空間創研 丸山 幸、亀井 菜々美：㈱大揮環境計画事務所
調 査 ・ 計 画 部 門	特別賞	信州まちなかグリーンインフラ推進計画	株式会社 KRC	小林 真幸、田口 ちはる、長峯 史弥、三澤 陽平、田口 義明、亀山 涼
	奨励賞	道の駅たかねざわ 元気あっぷむら	株式会社 塚原緑地研究所	塚原 道夫、山本 綺哉、阿久津 和男、戸塚 有介、金井 拓見、一宮 義行

応募点数 17点 (設計部門：12点、調査・計画部門：4点、マネジメント部門：1点)

最優秀賞：2点、優秀賞：4点、特別賞：3点、奨励賞：3点

③第17回一造会大賞 募集リーフレットより

■主催：全国1級造園施工管理技士の会

■趣旨

一造会大賞は、一造会会員をはじめとする造園施工管理技術者の技術や努力を表彰・認定するものです。多様な造園の設計、工事、管理、開発など、分野は問いません。また、対象（現場、物件）の大小も問いません。

対象で与えられた条件の中で、どのような工夫・努力をしたか、造園技術者の取り組みとその成果を顕彰することが大きな目的です。

あなたの取り組みをまとめ・検証することが明日の技術に繋がります。ぜひご応募ください。

■募集対象・部門

・応募内容のジャンル（次の5種から選択）

a 設計 b 造園工事 c 土木工事 d 管理業務 e 技術開発 f その他

■応募資格

応募の資格者は、下記の方になります。

- ①一造会会員
- ②一造会会員と共同での応募
- ③一造会会員から推薦を受けた方

■選考方法について

選考は設計、工事、管理、開発等において、応募書類に基づき、次に示す視点から選考委員会で行います。

- ①造園技術の伝承・開発
- ②地域社会への貢献
- ③現場条件の活用及び対処
- ④環境・景観への配慮
- ⑤時間軸を意識した空間の提供

■選考委員

委員長	藤井 英二郎	千葉大学名誉教授
委員	金子 隆行	一造会副会長
〃	町田 誠	(一財)公園財団常務理事、横浜市立大学客員教授
〃	石井ちはる	(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会 理事、技術委員長
〃	韓 圭希	(公財)都市緑化機構嘱託、URBANICS 共同代表、釜山大学・鮮文大学客員教授
〃	福成 敬三	一造会フェロー
〃	松本 朗	一造会常任相談役
〃	高橋 正敏	一造会関西支部
〃	石出慎一郎	一造会東北支部

■表彰対象・内容

- ①「大賞」 最も優れたものとして評価されたもの
- ②「優秀賞」 優れたものとして評価されたもの
- ③「特別賞」 選考委員会の判断により、選出する

■受賞者

【一造会大賞（最優秀賞）】

○地域との繋がりを目指した取り組みと施工にあたる課題対策と小さな工夫

武内 将司（㈱石勝エクステリア）

【優秀賞】

○公園を中心に広がる地域連携 ～町田薬師池公園四季彩の杜 西園～

額谷 悠夏、園田 理恵、林 康司、佐藤 寛恵、小林 ひかる、山下 得男
（㈱富士植木（NEST Machida 共同事業体代表企業））

○富山県空港スポーツ緑地における障害者福祉の取り組み ～公園が共生社会のまちづくりを担う～

長谷川 暁信、神田 津希、野上 一志（㈱野上緑化）

【特別賞】

○国営公園内日本庭園改修工事における伝統技術の活用と環境配慮への取り組み

北村 優衣、大久保 導和、柳野 遼介、齋藤 桃、阿部 庸介（西武造園㈱）

○浜離宮恩賜庭園における江戸時代の庭園景色復元に向けた修景整備工事

渡邊 美央、益野 洋一、山中 啓史、加藤 岳大、磯部 紗江（㈱富士植木）

○吾妻の大自然で、一年間に及ぶ森林復旧作業

堀金 哲也、小川 雄一、杉村 泰、阿部 晃治、晝間 晴喜（㈱山梅）

※第17回一造会大賞の講評・受賞作品概要は、一造会HP（<https://www.icz.jp/>）でダウンロードできます。

作 品 概 要



東京都立松沢病院のランドスケープと長期的な取り組み



株式会社 愛植物設計事務所
Ai-Shokubutsu Landscape planning office

山野秀規・山本紀久・橋本恵・
浦澤柚花・倉田香織・鈴木美枝子



株式会社 メディカルマネジメント松沢
Medical Management Matsuzawa

清水律子・有馬武郎



東京パワーテクノロジー株式会社

池田真悟・小林将史

事業概要

松沢病院の歴史は古く、明治12年(1879) 設立の東京府癲狂院(テンキョウイン) から始まり、現存する公立病院としては日本最古の精神科病院です。2007年に東京都のPFI 事業がスタートし、約5年をかけて老朽化した建物の解体と集約・新設が進められ、それと並行して広大な既存緑地の再編を行いました。

緑地の再編では、既存の緑地・土地利用の特性と新たな土地利用特性を重ねて「街」「里」「山」の3つのランドスケープゾーンとコンセプトを設定し、これに沿った自然環境・景観を形成することとしました。長い歴史を持つ病院敷地内には、高木だけでも約3400 本もの樹木がありましたが、再編は既存樹木や緑地を可能な限り保存しながら行い、建物が集約された後に生まれる空地には、新たな緑地・樹群の創出や既存樹林を改善・補完する植栽を行いました。

一方、本事業の特性として、整備後も運営管理を約15年に渡って行う長期事業であることが挙げられます。そこで『長期事業であることを活かし、再編した緑の“質”の向上を図ること』を、もう一つのコンセプトとして、長期的に関わることでしか実現できない、様々な取り組みを続けています。

作品概要

作 品 名	東京都立松沢病院のランドスケープと長期的な取り組み
所 在 地	東京都世田谷区上北沢2-1-1
発 注	東京都立松沢病院
運 営 管 理	メディカルマネジメント松沢
計 画 ・ 設 計 ・ 監 修	愛植物設計事務所
モ ニ タ リ ン グ	愛植物設計事務所
施 工	東京パワーテクノロジー
緑 地 管 理	東京パワーテクノロジー
施 工 期 間	外部空間整備:2009年~2011年 部分改修ほか:2012年~継続中
規 模	敷地面積 約18.7ha、緑地面積 約8.0ha
主 要 施 設	(主な建築物) 本館診療棟・社会復帰病棟・リハビリテーション棟・医療観察法病棟・職員住宅ほか (外部空間) 樹林地・草地・庭園・加藤山將軍池・駐車場・グラウンドほか

ランドスケープゾーニングと整備状況



街～里ゾーンに創出した紅葉庭園



里ゾーンには、新たに梅林や竹林などを創出



山ゾーンの既存樹林と加藤山・將軍池

長期的な取り組み

■ 各種モニタリングによる環境と景観の継続的な把握

整備前から実施している「景観モニタリング」や「保全対象種のモニタリング」、「コドラート調査」などの基礎調査を継続し、整備後の景観・自然環境の把握と評価を続けています。

景観モニタリング



定点写真撮影の手法で、整備前後の景観変化を継続的に把握し、必要に応じた管理手法の見直しに繋がっています

保全対象種のモニタリング



良好な自然環境の保全がなされているかの指標の一つとして、保全対象種のモニタリングを継続中

コドラート調査



整備前から植物群落の変化の把握調査を継続中

■ 協働巡回を通じた順応的管理



協働巡回に基づく管理

緑の機能や景観、自然環境など様々な面で質の高い緑を実現するため、上記の各種基礎調査をもとに、現地での「協働巡回」による順応的な植栽管理内容の調整・最適化を図っています。

運営事業者・設計者・管理作業者の3者で、「協働巡回」を定期的に行って、現地で植栽・植生の状況を確認し、状況に合わせた「順応的管理」を実践・継続中

■ 継続事業でしかできない各種改善計画とその実践

継続事業であることを活かし、樹林・樹木の更新や、経年の変化に合わせた改善計画、将来を想定した景観木の補植など、長期的に関わることでしか実現できない様々な取り組みを続けています。

雑木林の間伐と再利用



雑木林の創出を企図し、計画時から間伐を想定して植栽された幼木群は順調に伸長して競合・過密化するまでになり、育成の次のステップとして、間伐を実施

経年・状況の変化にあわせた改善計画



整備後の事業変更や緑の経年変化など、状況変化への継続的な対応が求められるが、協働巡回を通じて、当初目標や長期計画をふまえた改善計画の立案と実施を継続中

倒木被害を回避するための処置検討



保全された外周樹群の倒木・落枝の被害を未然に回避するとともに競合・過密化の改善、景観の向上などに資するため、個体の状況を確認しながら処置方針を設定して実施

サクラのある風景の維持と更新計画



保存されたサクラの大樹も衰退が進む個体が多く、サクラのある風景を維持し、次代に向けた更新をしていくため、さまざまな改善計画を立案して、順次、実施中

企業理念

自然と人との関係を考え、「鳥も虫も共に棲める豊かな環境づくり」を目指します

- 持続的な土地利用の提案
- 多様な生態系の保全
- 快適な生活環境の創出

会社概要

設 立： 1973 年 8 月

本社所在地： 東京都千代田区神田猿楽町 2 - 4 - 1 1

TEL. 03-3291-3380 E-mail. KYT07777@nifty.ne.jp

URL. <https://ai-shokubutsu.co.jp/>

代 表 者： 趙 賢一

業務内容

1. 公園・緑地等の計画・設計・監理
2. 植栽設計、植物導入の計画・設計、植栽材料の開発、植栽管理指導
3. 屋上・壁面、街路樹等の緑化技術開発、湾岸・岩礁地等の特殊環境緑化等の計画・設計・管理・維持管理計画
4. 大規模建築～住宅の外部空間の計画・設計・設計監理及び許認可申請
5. 植物・動物・生態系の調査・解析・評価及び保全活用計画
6. 環境アセスメント調査、森林資源調査、モニタリング調査
7. 植物の保護・移植・増殖技術開発
8. GIS・GPSによる自然環境情報解析、植物管理システム及び管理マニュアル作成
9. 地域資源、景観、レクリエーションの調査・計画・設計
10. イベント・ワークショップ等の企画・運営、専門書等の作成支援、講師派遣



自然環境調査・保全計画



都市再開発設計・監理



植物導入計画・WS 運営



文化財保全計画・管理指導

主な賞歴

- 1983 年 3 月 株式会社オリエンタルランド表彰
「東京ディズニーランド植栽実施設計・監理」
- 1996 年 7 月 建設大臣表彰
「国営ひたち海浜公園記念の森基本・実施設計」
- 2006 年 10 月 第 22 回都市公園コンクール公園緑地協会賞
「水元公園水産試験場跡地基本計画・基本・実施設計」
- 2008 年 5 月 CLA 賞最優秀賞
「あさひ苑老人福祉施設外構工事基本・実施設計・監理」
- 2015 年 5 月 平成 26 年度日本造園学会特別賞 『造園植栽術』 山本 紀久著
- 2016 年 7 月 国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所 優良工事等表彰
「宮城県における国営追悼・祈念施設基本設計業務」
- 2022 年 8 月 CLA 賞最優秀賞
「東京都立松沢病院のランドスケープと長期的な取り組み」



株式会社 メディカルマネジメント松沢 Medical Management Matsuzawa

■概要■

メディカルマネジメント松沢は、東京都松沢病院の運営を効率的な資源活用でサポート。
最良の環境づくりをマネジメントしています。

会社名	株式会社メディカルマネジメント松沢 (英語名: Medical Management Matsuzawa Co.Ltd..)
所在地	(本社) 〒156-0057 東京都世田谷区上北沢 2-1-1 都立松沢病院内 TEL: 03-3303-0837 FAX: 03-3329-0830
設立	平成 20 年 9 月

■運営理念■

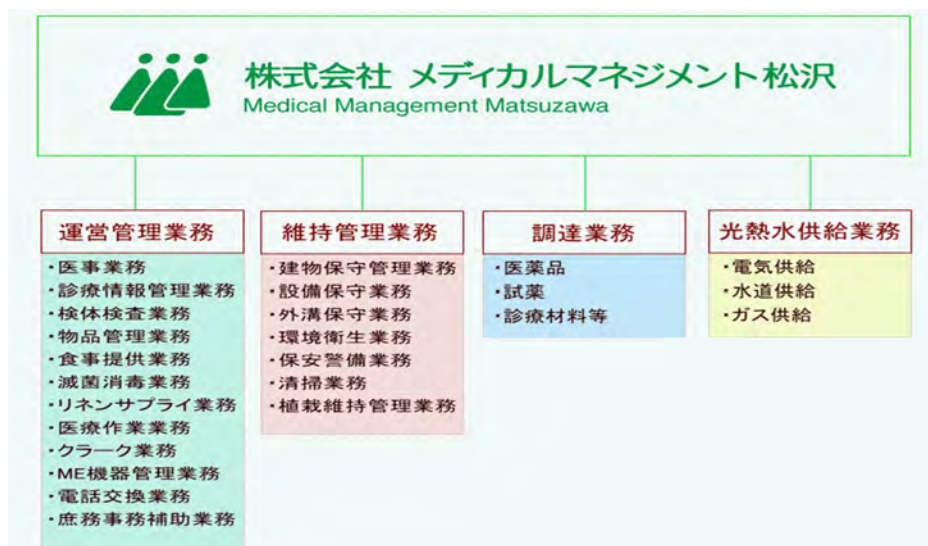
- ・松沢病院のパートナーとして、松沢病院の医療・地域への貢献活動を全力で支える。
- ・社員一人ひとりが物事を自分事として捉え、常に考え、自ら改善し、病院運営のリーダーとして行動する。
- ・コミュニケーションを大切にし、明るく元気潑刺とした職場とする。

■事業内容■

私たち メディカルマネジメント松沢の業務は、病院の統括マネジメントです。

統括マネジメントとは、病院内の良好な医療環境を実現するために、新しく生まれた業務です。

- ①「個別業務の統括マネジメント」 建物管理や清掃・医事・給食・調達をはじめとするさまざまな業務を、専門性を持つ協力企業に委託し、提供するサービスの質を向上させるために、各業務のマネジメントを行っています。
- ②「経営支援業務」 医療従事者や委託業者が提供する病院サービスの質を向上するための助言や支援を行います。



■ 会社概要

商号	東京パワーテクノロジー株式会社 (Tokyo Power Technology Ltd.)	代表者	代表取締役社長 塩川 和幸
所在地	〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目5番13号 TEL 03-6372-7000 (代表) FAX 03-6372-4160	設立年月日	2013年7月1日
		従業員数	2,451名 (2022年7月1日現在)

■ 事業ドメイン

火力産業プラント事業

火力発電所リプレース
福島復興電源・新規電源建設
メンテナンスに対応

- EPC、O&M
- オーナーズエンジニアリング
- 発電所メンテナンスの効率化
- 火力発電所リプレース
- 中小新規電源建設・メンテナンス

火力産業プラント

原子力

コアテクノロジー

発電プラントの
工事・運転・保守

環境インフラ

【環境・土木建築・
保険・尾瀬】

環境インフラ事業

コンサルティング・調査・分析・
運営管理をワンストップで提供

- PCB処理
- 環境アセスメント
- 環境緑化
- 再生可能エネルギー
- 発電所副産物の再資源化
- 地震観測
- 福島復興関連業務
- 企業保険契約
- 尾瀬国立公園の自然保護・保全
- 尾瀬山荘運営

東京パワーテクノロジーは東京電力グループの中核企業として、長年にわたり発電プラント事業ならびに環境インフラ事業などに携わっています。その豊富な経験と電力設備で培った専門的な技術力を活かし、調査から提案、計画、建設、O & M (オペレーション&メンテナンス)、さらには改良から撤去に至るまで、プラントライフサイクルにおける「安全運営」と「コストの最適化」に貢献するトータルなエンジニアリングサービスを提供します。プラントライフサイクルを支える多様な技術力を融合させることで、新しい領域へと歩み続けます。

原子力事業

エンジニアリング力
分析技術力を提供

- 事故炉の安定化・廃炉作業
- 放射性核種分析技術
- 放射線管理技術
- 雑固体廃棄物焼却設備設置・運転・メンテナンス
- 原子力発電所安全対策工事

■ 環境事業

電気事業や再生可能エネルギー事業等の幅広い環境専門分野（放射線管理、環境緑化、環境分析、廃棄物処理、環境アセスメント業務等）で培ってきた確かな経験と技術・ノウハウを駆使して、お客さまが抱えている「ありとあらゆる環境課題・問題の解決」に取組み、人々の暮らしと生態系を守り続ける快適な環境づくりに貢献しています。

環境緑地の創造

緑の効果の活用や将来像を考慮した緑地創造のコンサルティング、予算に応じた施工・管理やモニタリングまでを一貫としたグリーンマネジメントを行っています。

エコツーリズムの企画・運営

尾瀬国立公園での活動実績や、都市緑地・工場緑地等の創造・管理技術をフィードバックした、実践的な自然環境事業の企画、運営に取り組んでいます。

自然環境・生物多様性の保全

これまで培った国立公園の保全、回復、運営事業などの経験を基に、多様な地域固有の自然や文化、歴史の継承、保全、修復、活用などの取り組みをサポートします。また、災害復興事業にも取り組んでいます。

環境アセスメント

お客さまの開発計画に対し、事業性検討の段階から環境影響調査・予測・評価を提案し、地域課題等を踏まえたうえで、地域とも連携した、持続可能な開発をサポートします。

環境分析・測定

計量証明機関として、経験豊富な人材と高度な分析機器を備えた施設で大気汚染、水質汚濁、各種汚染物等の分析・測定を行います。また、長年の知見と化学技術を駆使し、有害物等の各種試料採取から分析・測定に至るまで幅広いニーズに対応します。

廃棄物処理（太陽光パネル廃棄物）

神奈川県川崎市扇島にて、2030年頃から大量に発生する太陽光パネル廃棄物の適正処理及び資源循環を目指した積極的なリサイクルを推進しています。

《センサーアイ》 画像等情報通信・閲覧サービス

電源インフラが未整備な地域でも使用可能で、無線監視カメラで撮影した静止画像や気象観測データをインターネット回線を利用してスマートフォンやパソコン上で閲覧できる配信システムを提供します。

環境保全技術の開発

社会のニーズ、環境課題等に対応するため、各種技術開発に取り組んでいます。

大手町ビル SKYLAB /三菱地所設計

超高層ビルに囲まれた空中の中庭

屋上空地のワークプレイス

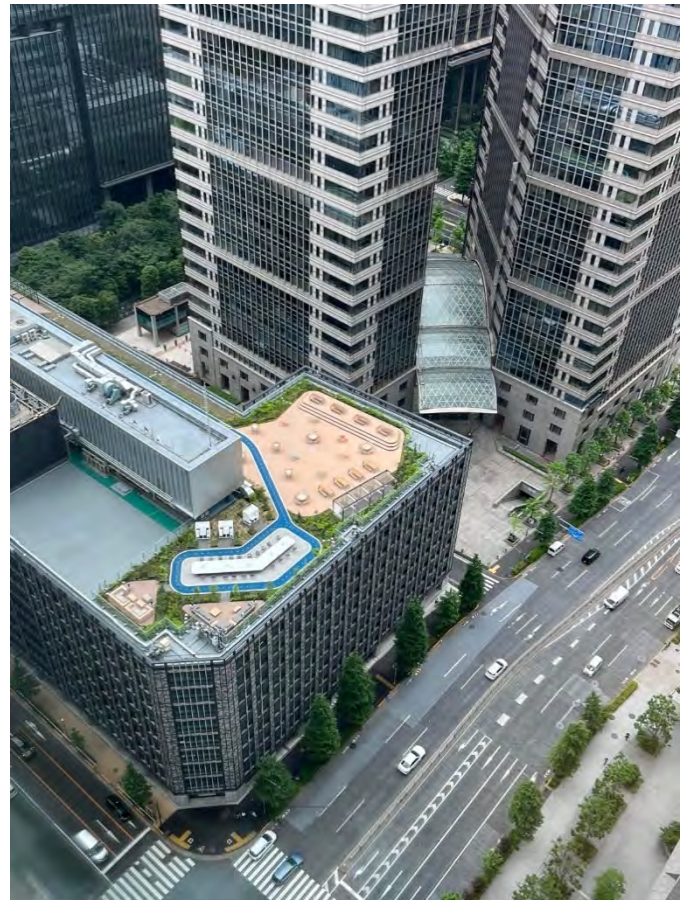
1958（昭和 33）年竣工の「大手町ビル」のリノベーションの一環となる、ビル就業者を中心としたワーカーたちへ向けた屋上空地のワークプレイス化計画である。

通常、屋上に並ぶ設備機器群が、ここでは塔屋と北側にコンパクトにまとめられているため、大手町ビル屋上の南側（丸の内側）には大きな空地があった。1958 年の竣工当時には、昼休みに弁当を広げたり、バレーボールをしたりと、周囲を見渡せる開放的な場所としてワーカーたちのくつろぎの場となっていたらしい。しかし年月の経過の中で超高層ビルに囲まれて眺望が失われていき、すっかりその存在は埋没してしまった。しだいに屋上は、安全管理上の観点から関係者以外立ち入り禁止となり、利用されなくなった。

今回の屋上リノベーションは、この屋上空地を“超高層ビルに囲まれた谷間”とマイナスに捉えるのではなく、“時間の経過によって生成された、現代的で都市的な空中の中庭”とプラスに捉え、屋外利用も可能なワークプレイスとして整備し、この場所を再びワーカーたちに戻すことにした。

選択性のある場所のデザイン

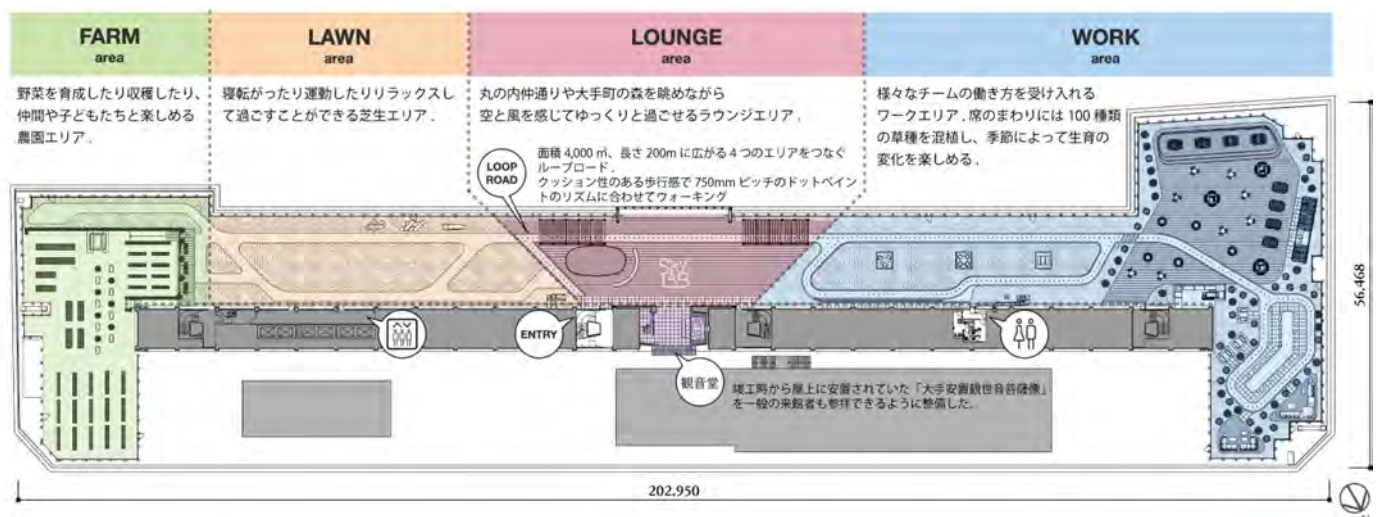
面積にしておよそ 4,000 m²、長さ 200m におよぶ広大な空間を 4 つの場（WORK/LOUNGE/LAWN/FARM）に分け、それらをクッション性のある歩行感の「LOOP ROAD」と名付けた動線で繋いだ。丸の内仲通りを見下ろす「ロングカウンター席」や、ひとりで集中できる「ソロワーク席」、数段高くして他よりやや独立した

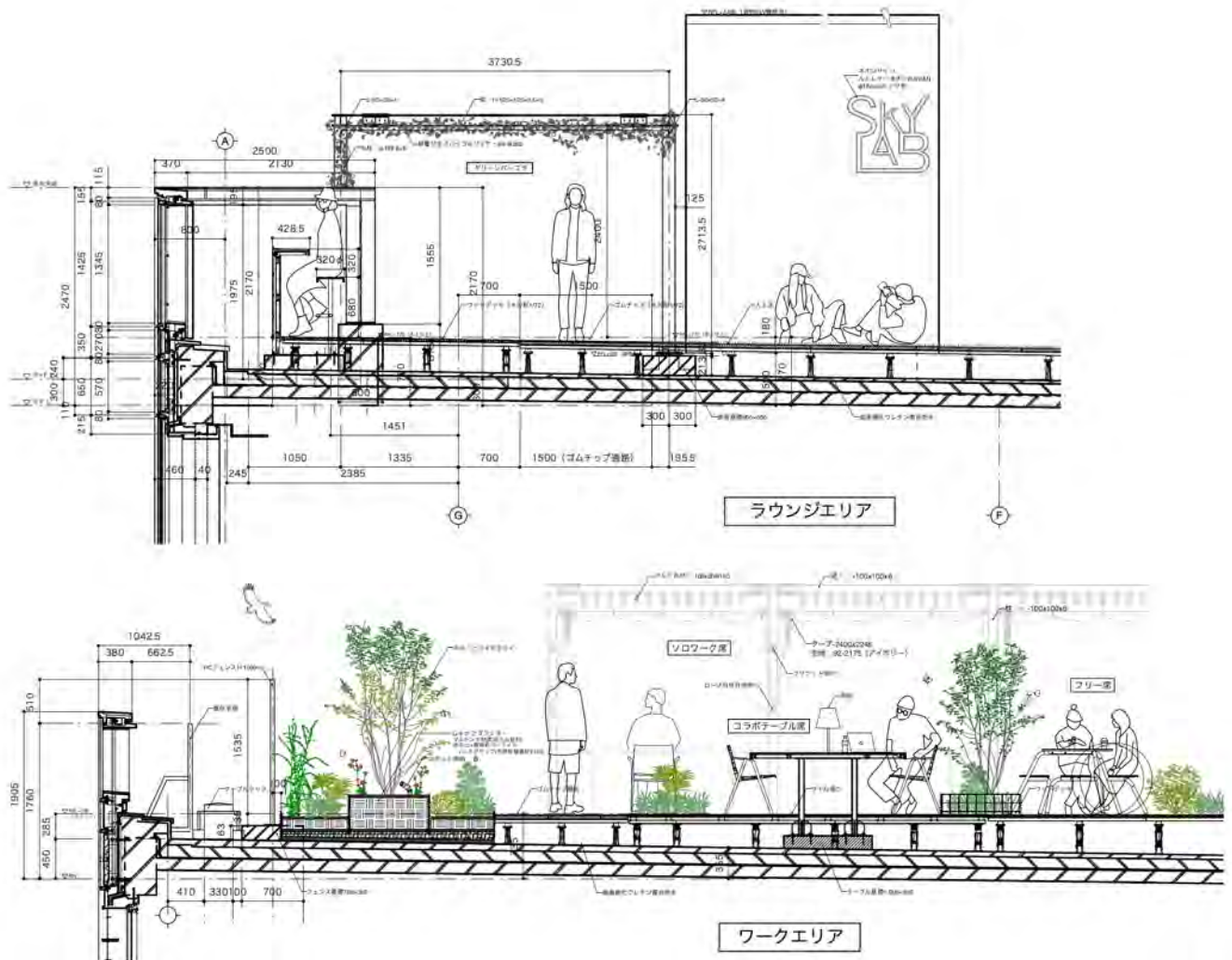


改修後の屋上空地「SKY LAB」（日比谷通り側）。

「小上がりテーブル席」、同じビルで働く人との接点を生む「コラボテーブル席」、皇居を臨みながらチームミーティングできる「ソファ席」を設け、人数や働き方に合わせて好みの場所を選択できるようにした。

既存ビルの改修であるため、新たなデザインは屋上の許容積載荷重の範囲内で検討する必要があった。比較的





屋上改修の断面詳細図.



ワークエリア (夜景).

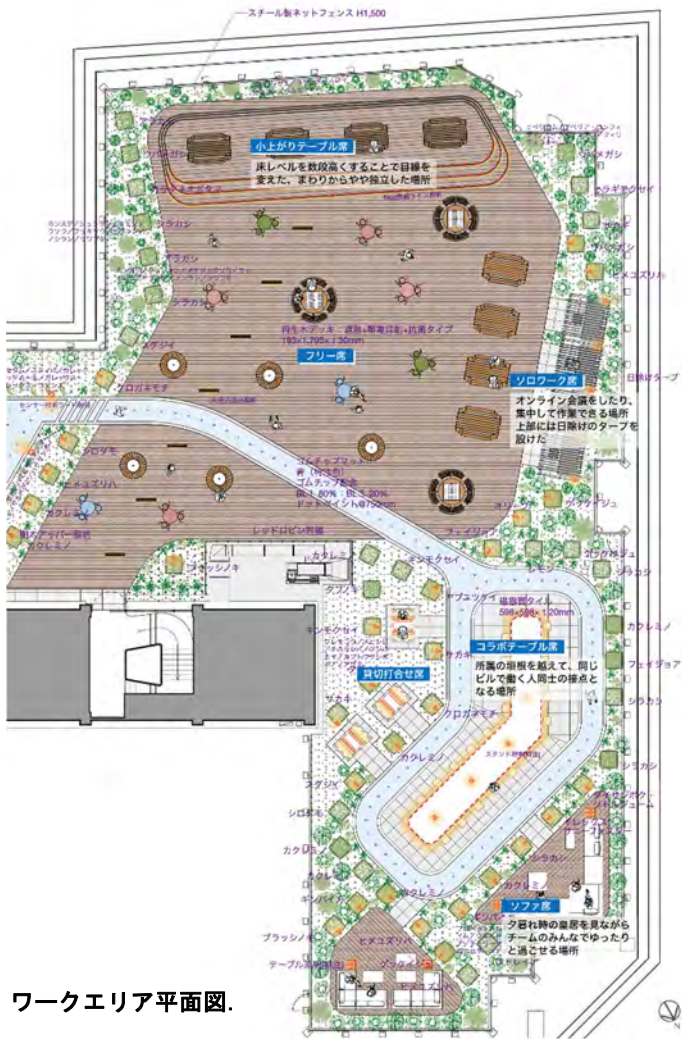
軽い再生木デッキと、重量のある植栽帯やパーゴラ基礎は、柱梁で囲まれた1スパン単位で下地を含めた総重量を少しずつ微調整し、全体の線形を決定している。座席の回りにはグリーン・パーゴラで立体的に緑化したほか、100種類の草種を混植し、季節によって生育の変化を楽しめる。既存ビルの改修であるため、新たなデザインは屋上の許容積載荷重の範囲内、つまり柱梁で囲まれた1スパン単位で下地を含めた総重量を微調整し、全体の線形を決定している。



ワークエリア。人数に合わせて利用できる。



緑に囲まれた「ソファ席」。



ワークエリア平面図。

オープンしてから早速、大手町ビル地下の店舗で弁当を買って、屋上で昼食を取るワーカーたちで賑わっている。夕暮れ時には、グループメンバーがそろそろソファ席に集まってきてミーティングをしたり、夜になると人工芝エリアで行われるヨガのイベントに参加してリフレッシュしてから帰宅していく。周りに生かされている副産物のような都市の空間をとことん楽しみ、発見と実験の場所「SKYLAB」として、ますます活用されていくことを期待している。



改修後の大手町ビル外観。



竣工時の大手町・丸の内エリア。

おわりに

医療の発達、栄養状態や衛生環境の改善などにより“人生100年時代”を迎えている。建築もつくって完成、ではなく、毎年の適切な設備メンテナンスによる機能維持やテナントの入れ替えによる機能活性化に加え、その時代に応じた、前向きなデザイン・リノベーションを行う“100年建築”が当たり前になってくる。今回、1958年竣工の大手町ビルを60年を迎える2018年に、100年建築を目指して大規模なリノベーション工事に着手してきた。時代に合わないからと壊して新しいものに取り替えるのではなく、場所性と時間性を包含しながら、時代の変化に並走して建築のあり方をアップデートしていく。そのとき大切なのは、原状維持にとどまらず、もっと先の未来を見据えた“都市の未来予想図”を描くことだ。描いた未来とのズレが生じたら、その時点でまた補正していけばいい。その積み重ねこそが建築の、そして都市の成長と成熟につながっていくと思っている。

作品概要（設計部門）

作品名：大手町ビル SKYLAB

所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1

発注：三菱地所

設計：三菱地所設計

設計協力：ソラ・アソシエイツ

監理：三菱地所設計

施工：大成建設 東光電気工事 第一工業 斎久工業

設計期間：2020年6月～2021年4月

施工期間：2021年5月～2022年4月

規模：屋上改修範囲 4,038.83㎡

主要施設：WORK/LOUNGE/LAWN/FARMの各エリアと LOOP ROAD

Renovation Design & Engineering

リノベーションデザイン

+ EMOTION

www.mj-sekkei.com

※孩子の安全の取扱いを要します
発行: 2021年10月

三菱地所設計

+ EMOTION 心を動かす、未来をつくる。



ABOUT

豊富な経験で
お客様とともに
建物の未来を創造する。
三菱地所設計の多様な
リノベーションデザイン

「いつ何を改修したらいいの?」
「今のビルで環境配慮を行うには?」
「地震が起きても大丈夫?」
「このビルの寿命はどのくらい?」
「ビルのバリューアップを図りたい!」
「ビルの競争価値を高めたい!」
建物を運用していく上でそのような悩みはつきものです。

私たち三菱地所設計のリノベーション設計部は1995年の創設*から多くのリノベーション実績により
積み重ねてきた豊富な経験と三菱地所グループの一員として培ったノウハウを最大限に生かし
さまざまな角度からお客様のお悩みに合わせた多様なご提案をいたします。

時代の変容に合わせて新たな価値を創出する「リノベーションデザイン」の
提案でお客様とともに建物の未来を創造します。

*当時は「リニューアル建築部」

Contents

02	豊富な経験でお客様とともに建物の未来を創造する。 三菱地所設計の多様なリノベーションデザイン	03	お客様に合わせた 多様なリノベーションメニュー
03	三菱地所設計の リノベーション業務とは	06	実績のご紹介

[三菱地所設計のリノベーション業務とは]



[お客様に合わせた多様なリノベーションメニュー]

		設計・監理	コンサルティング
Re1 / 建物調査・診断		—	○
Re2 / 長期修繕計画		—	○
Re3 / リノベーション(予防保全・バリューアップ)		○	○
Re4 / 耐震診断・耐震改修・劣化診断		○	○
Re5 / コンバージョン(用途変更)		○	○
Re6 / コストの最適化・品質管理		○	○
Re7 / 環境配慮(CO ₂ 排出量削減・ZEB化)		○	○

これらのメニューを組み合わせ、
お客様がかかえる問題に合わせたベストソリューションをご提案いたします。

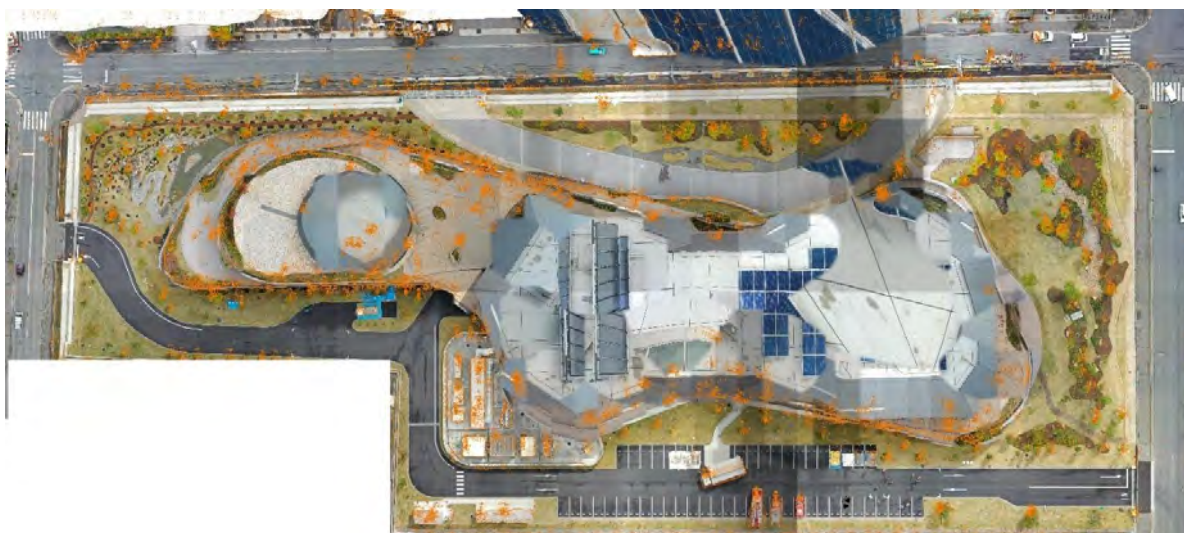


1. 工事概要

本工事は奈良県奈良市で計画された某企業の研修施設であり、敷地面積 17,000 平米で人材育成の場および関連企業及び地域交流を目的とし宿泊施設も兼ねた施設である。

当社はその中で植栽計画の設計協力と植栽工事を請け負い、施設利用者に高品質な庭園による癒し・休息を提供できる空間造りを目指した。

また、環境認証の条件で様々な制限があったが事前協議を綿密に行い細部に渡る計画の再考を行った。更に、工期にも余裕がなかった為、建築及び外構工事業者と調整及び工夫を重ね工事を行った。



2. 奈良らしさと繋がり

当施設の植栽計画として「奈良らしさ」を演出する為に万葉集に登場する植物「万葉植物」を使用し計画を立て、当植栽計画を大きく3つにゾーニングし計画を行われた。

① 北側 水系エリア ②東側 エントランスエリア ③南側 万葉の森エリア

2-1. 水系エリア

敷地の北側に位置するこのエリアはVIPルーム前に位置し、敷地の中でも最も重要な場所である。VIPルームからの目線の高さに滝口が見えるように配置し、滝口からは「曲水」と「ながれ」に分流し手前の池に落ちるように計画を行った。

特に「曲水」は平城京内に残る日本庭園の祖とも言われる「東院庭園」の曲水を模して造り、底石のサイズ感や組み方はモックアップを作成し検討を重ね施工した。目地にはモルタルの表面に川砂を撒きモルタルが目立たないよう配慮を行った。

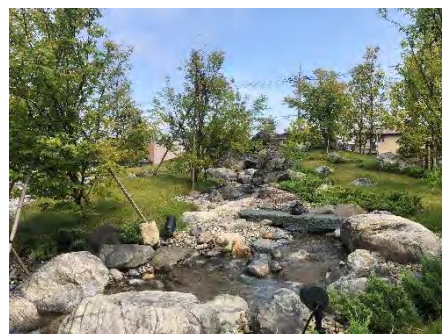
「曲水」は実際に盃を流せるように水位の調整を水量と置石で調整し、細部に渡る検討と調整を行った。



曲水部モックアップ



曲水部目地表面に川砂を撒いた様子



ながれ部の外部施設との遮断状況

池底から滝口の GL まで 3 m 程度高低差があり、土砂崩れ防止の為土留め石の配置や池の清掃等管理の為に池の州浜部の最下層をゴロタ石のモルタル固定を行いそのゴロタの上に中～小の順で川砂利を敷き均し、自然感を演出する為に池から離れるにつれ砂利を細かくしていった。池部分では同じ川砂利でも粒径が異なる砂利を 4 種類用意し、仕上げを行った。

管理道部分においても、当初は維持管理者のみの通行予定であったが、散策路としても楽しめる事が想定された為に、起伏と蛇行を加え散策路として改良を行った。



V I P ルームからの眺望



溜池砂利敷状況



管理道を兼ねた散策路

2-2. エントランスエリア

建物と植栽地の間に車路が計画された敷地の南北を繋ぐエリアである。当エリアでは計画段階で遺構が発見されており、昔の痕跡を残すために遺構線を小舗石を並べて表現した。この遺構線は過去と現在との繋がりを表し、建物内外の一体感を表す重要なオブジェクトになっている。

2-3. 万葉の森エリア

敷地南側の幹線道路と建物の間に位置し、道路の向こう側は店舗が並んでいる。建物内は食堂や休憩スペースが設けられ、そこから多くの人が観賞する空間である。

築山には高中木を配植し、デザイン性を担った目隠し植栽として配置を行った。また、単幹を 2 本以上組み合わせ株立ちに見せる配置や、目隠しの為に樹高が高いものを入れないで済むような配慮を行い、高額な樹木を使用しないで済むように、コスト面においても工夫を行った。

また、1 本辺りの樹木の重量や大きさを下げる事で中型の移動式クレーンでの施工や、0.12BH 程度で施工できるので、施工性が上がり工期短縮にもつながった。



3. 奈良の土質

環境認証の条件の中に施工地より 80 フィート以内での材料調達が条件としてあり、植栽計画の際に事前に客土の検体の室内分析での土壌分析を行った。

土壌分析の結果は飽和透水係数が「優良」で有効水分保持量が「不足」の結果であった為、バーク堆肥＋真珠岩パーライトの混合による改良を行い植栽を行った。

植え付け後、一部のエリアで樹木の生育状況の悪いものが散見され枯死するものもあったため、原因の調査を行った。枯死樹木を伐根し調査を行った結果、伐根後の植穴には水が溜まった状態であり根鉢に付いていた土は還元状態となっていた為、実際の施工箇所では長谷川式簡易透水試験を行い現地調査を行った。

その結果、根腐れ箇所付近では不良の判定であった。透水性が良すぎる為に保水性向上の改良を行ったが、一部のエリアで透水性が実際は悪い箇所が散見された。今回使用した奈良の土の土性は砂壤土（SL）であったが、シルトや粘土化した細粒度が多く含まれており、築山の窪地気味になっている箇所に集まり非透水層を形成したため、根腐れを起こした事が想定された。そのため、高中木を高植になるように配置し直し、再配置した高木の周りも築山造形し高植をデザインの中に組み込む仕上げを行い、窪地では根鉢底に暗渠を設け排水改善を行った。

4. ドローンを用いた竣工図の作成

図面の等高線では表現しきれないものや、現地の雰囲気やニュアンス等により築山造形は現地で細部まで調整を行ったため、竣工図の作成において出来高測量の大きな労務が想定された。そのため、ドローンを用いて竣工図作成を行った。ドローンによる航空写真を撮影し、画像の縮尺を図面の大きさと合わせ図面に写真を重ね高中木的位置や、低木・地被のエリアのプロットを行った。低木・地被のエリアは築山造形との取合いで当初計画より変更が大きかった為、変更修正を容易に行うことができた。

等高線の作成はドローンで高さ情報を計測し、CAD化して等高線を作成し竣工図作成を行った。

これにより測量労務を抑え、精度の高い竣工図を作成する事ができた。



ドローン測量にて取得した高さデータ（橙色部高さ記載）



データを取込み等高線を図示化

5. 竣工を経て

施工を行っているとき計画段階では想定しきれなかった地域特有の課題や問題点が散見される事がある。

今回においては特に土質において排水不良を引き起こす大きな問題が発生し、そういった問題や課題は多くの現場で日々発生し、各々がその問題に対し真摯に向き合って技術や知識が積み重なって今日の造園技術が成り立っている。更に近年課題である働き方改革など労働時間に対する考え方も大きく変動している時代だと思います。

今回使用したドローン性能の向上や、IT技術・DX技術の向上により様々な事象を簡素化・効率化を行い、取捨選択を行い不要な事は省略化し、小さくても品質向上の為に必要な「手間を掛ける」事を惜しまず、人々の感性に訴えかける事が造園の職能ではないのかと考えます。その結果、限られた予算・時間の中で地域や歴史、技術等、時代に順応した創意工夫を加えながら造園という職能を少しでも発展できたらと考えます。

公園名 金沢八景権現山公園

作品名 金沢八景権現山公園～歴史的景観の継承～



受賞者名 堀江造園 株式会社
井原造園 株式会社
馬淵建設 株式会社
株式会社 建文
横浜市 環境創造局

1 施工の趣旨

金沢八景権現山公園は、江戸時代に円通寺と称する寺院の境内地でした。

敷地内に建つ「旧円通寺客殿」は、本敷地内の西方、権現山の中腹に祀られていた東照宮への参詣客を迎えるための客殿として使われ、明治期以降、平成の時代まで住職であった木村家が使用していました。

当公園は、「地域の歴史や自然を通して人々が集い、地域の魅力を継承、創造する場」をコンセプトに、駅前立地という情報発信力のある立地を活かして歴史的名所を多く持つ金沢八景の歴史を展示し、周辺の名所への回遊性を高めることを目指し整備しました。



金沢八景権現山公園



金沢八景権現山公園イメージパース

2 施工内容と特色～地域文化の継承～

当公園の整備は、工事現場が狭い上に、遺構保護のため様々な制約がある厳しい現場条件の中、造園工事・建築工事を一体的に進めました。

旧円通寺客殿の復元では、江戸時代後期から末期にかけて創建された旧円通寺客殿を、条例に基づく「特定景観形成歴史的建造物」に指定することで、茅葺屋根などの伝統工法を可能にしながら、適法建築として復元しました。造園工事においては、公園内で、景観的、歴史的な価値を継承するため様々な配慮を行いました。

建築工事と造園工事が同時期に施工を行う際は、複数の施工業者による施工となりましたが、工事業者間・工事監督間での綿密な調整により、造園と建築の一体的な施工を達成し、統一感のある園内景観を実現しました。

3 施工の詳細

(1)「特定景観形成歴史的建造物制度」活用による古民家の再生

旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）は、条例に基づく当該制度の指定を受け、建築審査会の同意を得たことで、適法な建築として屋根を茅葺・板庇で葺くことができるようになり、内外共に創建時（江戸時代後期から末期）の姿に復元できました。

また、解体調査から復元工事に至るまで、痕跡調査、発掘調査、資料調査を継続的に行い、実証性を高めるとともに、復元に際しては一時解体保管した旧部材を原則、同じ位置に再利用をしています。



旧円通寺客殿内



旧円通寺客殿 屋根工事（茅葺）

(2) 旧円通寺客殿を主とした全体的な公園空間の調和

外構設備は、景観を阻害しないよう可能な限り埋設しました。茅葺屋根・板庇の代替措置として設置した屋外消火設備（自動首振り放水銃や炎検知器等）や、照明灯などについては、色彩をダークグレーに揃えることで統一感を持たせました。

表面に表れる公園施設は、石系、土系、木系などの自然が主役となるよう素材を選定しました。特に、核となる旧円通寺客殿の犬走と広場の舗装については同じ土系として一体感をもたせました。



管理休憩棟と旧円通寺客殿

(3) レガシーの継承

公園整備では、敷地内で確認された遺構を保護するため、電気設備、給排水設備、消防設備等の埋設配管を遺構がない箇所に切り回すとともに、必要に応じて保護盛土を行いました。さらに、生育していたサクラの古木を立曳き工法により公園内に移植し保全しました。

旧円通寺客殿の復元工事では、旧円通寺客殿の遺構（基礎石）の上に保護層を設けて遺構を保護した上で、コンクリートベタ基礎を打設し、その上に旧来の構法を踏襲して旧来の姿に再現しました。



サクラの立曳き

（４）狭い敷地の中での複数の競合工事間の調整

公園整備事業では一体的な空間として整備ができるよう、造園工事と建築工事が重なる様に工程を設定し、工事を進めました。

特に給排水・消防設備・電気設備関係の埋設物については、狭い敷地であること、歴史的遺構保護のため、埋設可能なルートが限られたことから、ほぼ全ての埋設配管が同じルートとなりました。そのため、造園工事、建築工事、電気工事、消防設備工事業者が施工図の段階から綿密に調整を行い、施工時も一体となって調整を行った上で、工事を実施しました。また、防災の点から旧円通寺客殿の柱組ができる前に、自動首振り放水銃や炎検知器といった消防設備を稼働する必要があったため、旧円通寺客殿の建て方の前に稼働できるように、調整を行いました。



工事中の様子



自動首振り放水銃 放水試験

（５）旧木村家住宅主屋の庭の趣きを踏襲した中庭

旧円通寺客殿の中庭は、江戸時代の姿が不明なため、現存していた旧木村家住宅主屋の庭の趣きを踏襲して整備しました。作庭にあたっては、解体工事前に残っていた手水鉢、沓脱石、灯籠等を再利用し、仕立てられていたクロマツを元あった位置に据え付けました。また、中庭の一部を築山状にして緩やかな傾斜をつけることにより、地面が西側（山側）へ向かい上がっていた地形を再現するとともに、垣根越しに中庭と裏山の景観が連続するように配慮しました。



旧円通寺客殿中庭



旧円通寺客殿内から見る中庭

公園名 金沢八景権現山公園
作品名 金沢八景権現山公園～歴史的景観の継承～
所在地 神奈川県横浜市金沢区瀬戸20-3

堀江造園株式会社

○所在地 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南1-21-4 OTEL 045-391-2605
OFAX 045-391-2619 OURL <http://www.horiezoen.com/>

井原造園株式会社

○所在地 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町1198 OTEL 045-383-2721
OFAX 045-383-2726 OURL <http://www.iharazouen.co.jp/>

馬淵建設株式会社

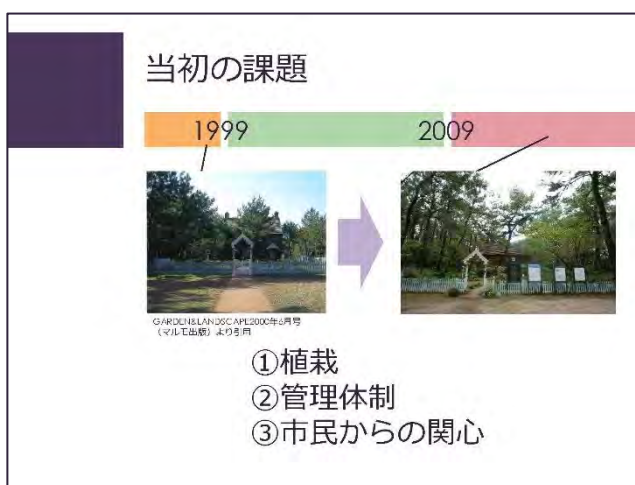
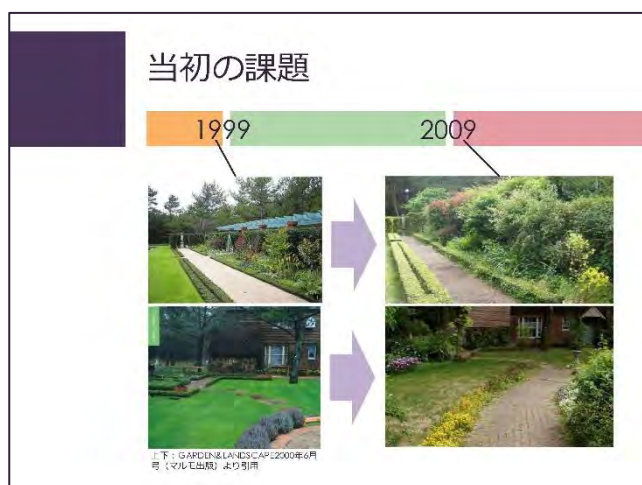
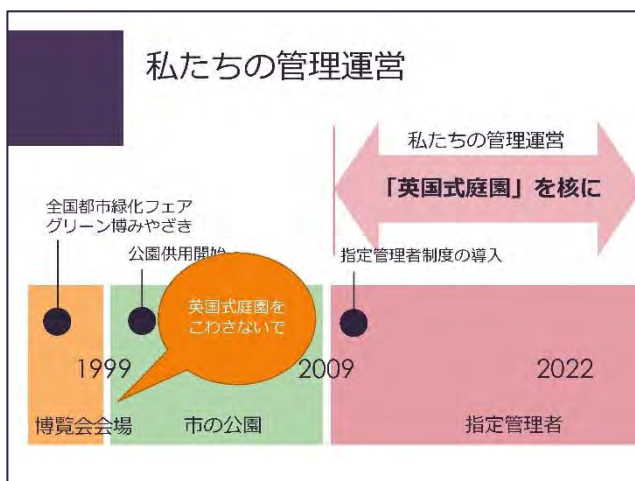
○所在地 神奈川県横浜市南区花之木町2-26 OTEL 045-712-4915
OFAX 045-712-4873 OURL <http://www.mzec.co.jp/>

株式会社建文

○所在地 東京都中野区中央1-22-13 OTEL 03-3365-0771
OFAX 03-3365-0772 OURL <https://www.kenbun.co.jp/>

横浜市環境創造局（公園緑地整備課）

○所在地 神奈川県横浜市中区本町6-50-10 ○TEL 045-671-2653
○FAX 045-671-2724



私たちの管理運営 ①植栽
展示用植物の整理



私たちの管理運営 ①植栽
イギリスらしい宿根草



私たちの管理運営 ①植栽
継続的な試作試験



私たちの管理運営 ②体制
管理軽減できる一年草



私たちの管理運営 ②体制
ガーデナーの育成



私たちの管理運営 ②体制
ボランティアクラブ



私たちの管理運営 ②体制

フラワーショーの開催



私たちの管理運営 ③関心

ガーデンハウスカフェ



私たちの管理運営 ③関心

コーラス花壇イベント



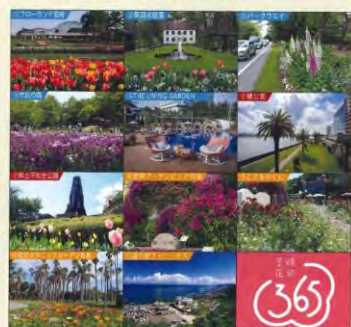
私たちの管理運営 ③関心

地域とのつながり



「宮崎花旅 365」とは

国土交通省が創設した地域（国・道・河川・港湾・空港・鉄道・バス・航空）で、
農産物や公園が連携して地域の魅力を向上させる「ガーデンツーリズム」。
令和元年5月に第1回、9月には第2回、令和2年2月には第3回の登録がありました。
合計で全国10地域の計10回が認定され、その一つに宮崎の「宮崎花旅365」が選ばれています！
一年を通して花々が彩る「宮崎花旅365」の11の個性豊かなガーデンを舞台に、
花が咲く地域の自然や歴史、文化そして人が愛でる物語をお楽しみ下さい。



H27 5月1日(日) 家庭園遊



MParks+PHOENIX

構成団体：一般財団法人みやざき公園協会
フェニックスリゾート株式会社

MParks+PHOENIX（一般財団法人みやざき公園協会＋フェニックスリゾート株式会社）は、平成21年度より宮崎市国際海浜エントランスプラザの指定管理者として指定されている企業共同体です。

構成団体	事業内容等
一般財団法人 みやざき公園協会	代表者：理事長 吉田 晋弥 設 立：昭和37年11月17日 （当時名称：財団法人えびの高原国民宿舎協会） 所在地：〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目10番25号 電 話：0985-25-7410 URL：https://mppf.or.jp/ 経営理念 花みどりLifeみやざき 私たちは、花とみどりを通じて「みやざき」の文化と幸せづくりに貢献する花みどりの総合プロデュースカンパニーです。 ●公の施設の管理者として約60年の実績 指定管理者として、制度導入当初（平成18年度）より従事し、現在は県内10公園 2施設の管理運営を行う ●宮崎の植栽管理技術 半世紀以上、宮崎の公共空間の花風景づくりを牽引
フェニックスリゾート 株式会社	代表者：代表取締役 社長執行役員 片桐 孝一 設 立：昭和63年12月27日 所在地：〒880-8545 宮崎県宮崎市大字塩路字浜山 3083 番地 電 話：0985-21-1111 URL：https://seagaia.co.jp/ 経営理念 フェニックス・シーガイア・リゾートは、「感動体験を創造し続けお客さまを元気にする」ことをミッションとしています。 Mission（使命） 感動体験を創造し続けお客さまを元気にする Vision（ありたい姿） 日本でいちばん”美味しい”リゾートになる Value（私たちの価値） おもてなしの心（誠心）× 創造は生命 × 積極進取 ●フェニックス・シーガイア・リゾート運営 ホテル、会議場、ゴルフ場等、国際レベルの接客やサービスの提供 ●国際レベルの芝生管理技術 フェニックスカントリークラブなどのゴルフ施設をはじめ、世界に誇れる芝生の管理技術

「としまみどりの防災公園 官民連携の取組み」

施工名：(仮称)造幣局地区防災公園造園整備工事、(仮称)造幣局地区管理棟等整備工事

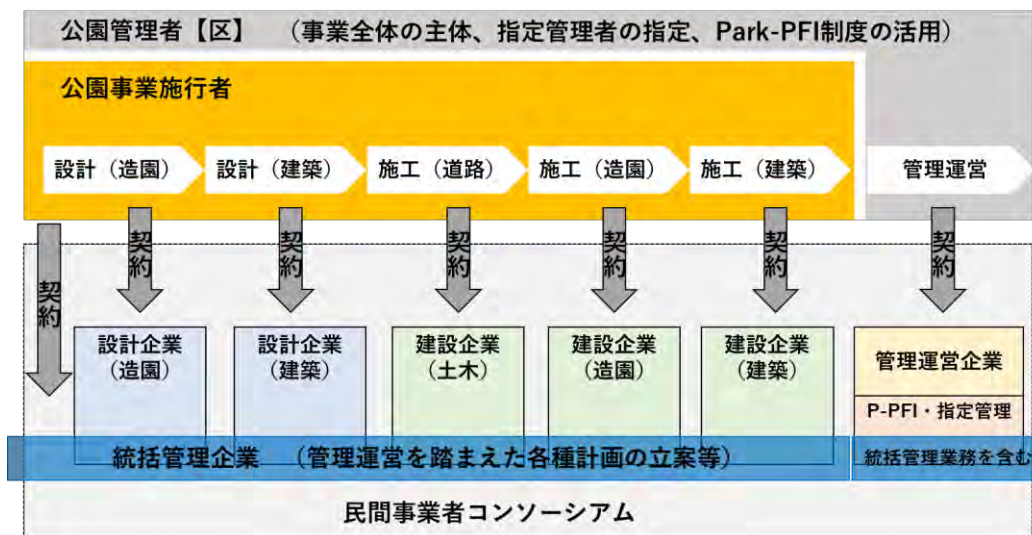
【背景と目的】

としまみどりの防災公園(以下、本公園)は、造幣局東京支局の移転による大規模土地利用転換を契機に整備を実施した防災公園である。公園整備にあたっては、区の「造幣局地区街づくり計画」において、隣接する木造密集市街地を含む周辺地域の防災性向上に向けた、一時避難場所及び救援物資集積拠点、ヘリポート等の機能が求められるとともに、区の「国際アート・カルチャー都市構想」における、本公園を含む池袋駅周辺の4公園を核としたまちづくり計画に基づく賑わいの創出が求められていた。これを踏まえ、本公園では、公園整備による周辺地域の防災性向上と賑わいの創出を目指し、設計・施工・管理運営を一貫して行う、官民が連携した新たな事業体制により事業を実施した。これにより、将来の管理運営を見据えた施設整備と、公園施設を最大限活用した発展的な管理運営が実現し、平常時の賑わい創出と災害時の防災性の両機能を有する「フェーズフリー」な防災公園、通称イケ・サンパークが完成した。

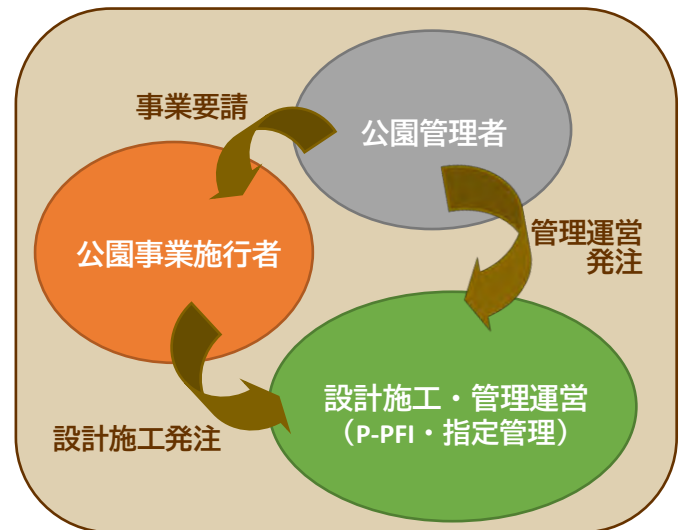


【Park-PFI制度の活用と設計施工管理運営一体発注方式による事業の実施】

官民連携による賑わいまちづくりの実現のため、本公園整備にはPark-PFI制度を活用し、事業者の公募にあたっては設計施工管理運営一体発注方式を採用した。設計施工管理運営一体発注方式とは設計、施工、管理運営のそれぞれを得意分野とする単体企業又は複数の企業によって構成される共同事業体(コンソーシアム)での参加を条件に、公募を行う発注方式である。事業の初期段階から事業者が管理運営計画を立案し、開園後の管理運営を見据えた設計、施工が実現した。



設計施工管理運営一体発注模式図



【フェーズフリーな公園を目的とした技術的工夫】

公園整備にあたっては、平常時と災害時の管理運営計画を踏まえた技術的工夫を行った。平常時には人々の憩いの場となっている区内最大の芝生広場は、災害時には一時避難場所、物資集積所だけでなく、一部に芝生用耐圧基盤を採用することで、ヘリコプターの離着陸場所としても機能する構造とした。イーストエントランスとメインエントランスを結ぶ芝生広場内のスラッシュ状の園路は、芝生への踏圧を軽減する園内動線としてだけでなく、池袋駅と大塚駅を結ぶ通過動線の一部としても機能するよう配置した。イチョウ並木により公園の象徴的な景観を形成するプロムナードは、災害時の緊急車両及び大型トラックの主動線として大型車両対応の舗装構造とし、平常時は池袋駅周辺エリアを巡回する電気バス(IKEBUS)運行ルート、イベント時の機材搬入路等となっている。また、木造密集市街地側の公園縁辺部には、防火樹林として耐火性のあるシラカシを列植した。周辺にイロハモミジ、ヒメリンゴ、ザクロ、ビワなどの季節感や彩りを意識した樹種を配植し、園路線形に変化を持たせることで、平常時に観賞や散策を楽しめる空間を創出した。また、倉庫棟に併設した屋内型災害用トイレは、大規模イベント開催時の臨時トイレとしての利用も想定し、平常時の水道による洗浄設備を整備するとともに、災害時に断水した場合は、耐震性貯水槽の井戸水を利用する給水ルートに切り替え可能とした。



平常時における公園機能



災害時における公園機能



災害時にヘリポートとなる芝生広場



平常時はIKEBUSの通行ルートとなるプロムナード

Park-PFI制度の公募対象公園施設であるカフェでは、公園の景色や広場で遊ぶ子供の様子を眺めながら飲食が楽しめる。カフェに隣接するウッドデッキとプロムナード沿いの大型車両対応舗装エリアの一部は特定公園施設として整備されている。ウッドデッキは、芝生広場とカフェとの連続性を高め、公園利用者の柔軟な動きを促進する。大型車両対応舗装エリアは移動式小型店舗(KOTO-PORT)(指定管理者の自主事業)やイベント開催時の仮設店舗の設置が可能で、園内の賑わいを創出する。また、災害時には、カフェは一時避難者への飲食物提供拠点として、KOTO-PORTは炊き出し拠点としての役割が期待されている。大型車両対応舗装エリアは緊急車両や大型トラックの駐車スペースとして位置づけられている。

また、本公園内に、東京都水道局の震災用応急給水槽(100t)と東京消防庁の深井戸(200m)を設置したことで、周辺地域の防災機能の更なる強化が実現した。



カフェと芝生広場の連続性を高めるウッドデッキ



大型車両対応舗装エリアに設置したKOTO-PORT

【公園での取り組みによる防災性向上と賑わい創出】

開園後、本公園では多様なイベントや様々な活動が行われており、地域の活性化に寄与している。85の友好・交流都市、近郊都市と連携したファーマーズマーケット(区と指定管理者の共催事業)をほぼ毎週末開催している。また、指定管理者が自主事業として実施しているコミュニティガーデンは、活動で収穫したハーブ等をカフェのメニューに取り入れたり、育成した苗を来園者に配布するなど、植物の循環の仕組みや食育等に触れられる場となっている。また、広場や多様な防災機能を活かし、消防車による放水が体験できる「まちかど防災訓練」や「防災フェス」を開催するなど、地域住民の防災意識醸成に寄与する活動を実施している。その他、地元企業による防災ワークショップや自主事業として樹木ガイドツアーや防災設備ツアー、地域住民ボランティア組織による公園の維持管理や啓蒙活動を実施したり、公園の利用ルール等を検討する場として地元関係者・指定管理者・区とで「としまみどりの防災公園をよくする会」を発足するなど、本公園は官民間問わず様々な主体による活動の場となっており、地域住民や来園者を巻き込んだ繋がりや賑わいが生み出されている。



ファーマーズマーケットの賑わい



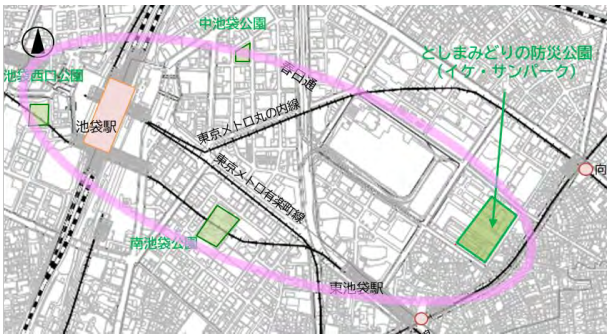
コミュニティガーデンでの交流



防災イベント(まちかど防災訓練)

【池袋駅周辺エリアにおける取り組みへの発展】

池袋駅周辺の4公園を核としたまちづくりの実現に向け、本公園は、IKEBUS通行による回遊性を促進するとともに、区の実践や民間企業と連携した取り組みの一拠点として機能している。地元民間企業と区が連携し、「池袋駅東口と西口をつなぐウォーカブルなまちづくり」の一環として実施したベビーカーレンタルサービス「ベビカル」の実証実験では、本公園をレンタル場所の一つとして運用した。また、複数の民間企業の施設と連携した「花とみどり」をテーマとしたイベントでは、ガーデンツアーの開催場所の一つとして、コミュニティガーデンで育てた苗の配布を行った。このように、本公園は池袋駅周辺エリアにおける様々な取り組みの拠点として認知されており、地域における公園の新たな機能を発信する役割を担っている。



賑わい街づくりの核となる4つの公園



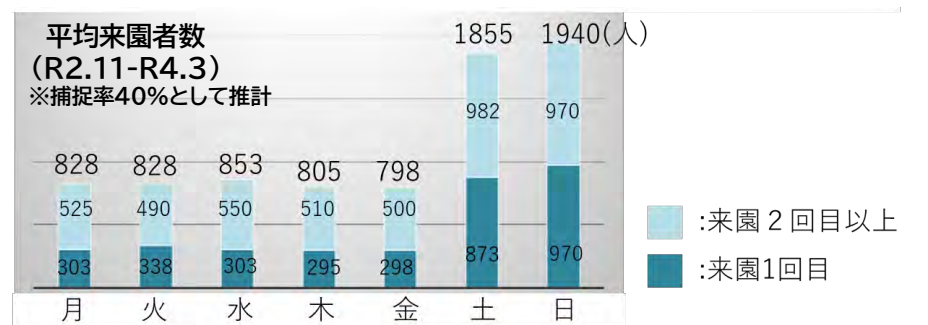
ガーデンツアーでの苗植え体験



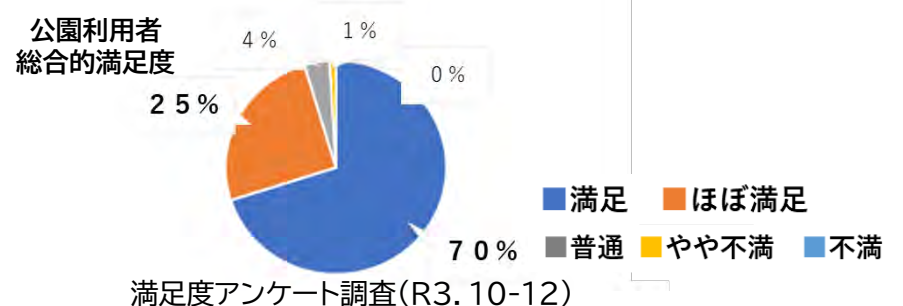
ベビカル実証実験

【本公園整備による成果と今後の展望】

これまで記載したとおり、本公園整備により、地域課題であった防災性向上と賑わいの創出が同時に実現した。今後の更なる公園活用による地域の活性化を目指し、本公園の利用状況や来園者等の意向を管理運営へ反映させるため、園内人流データの収集(園内3箇所に設置したwifiパケットセンサーにより滞在者数と属性、滞在時間、リピート率を検証)と来園者及び近隣住民アンケートを実施した。その結果、人流データ分析では、日平均1129名、土日平均1898名の来園が確認できた。公園利用や管理運営状況に係るアンケート調査では、「満足」、「ほぼ満足」の回答が計95%、利用者のうち57.3%の方が来園2回目以上のリピーターという結果が得られた。これらの結果から、全面開園後約一年半が経過した現在も、多くの方々が本公園を繰り返し利用していることが分かった。芝生広場や樹林帯でくつろぐ人、カフェやKOTO-PORTで飲食を楽しむ人、遊具で遊ぶ子ども達等で賑わいが絶えない様子は、アンケート結果と同様に本公園に対する高い満足度の現れといえる。今後も利用者から届いた様々な意見を公園の管理運営に反映しつつ、本公園を活用した園内及び周辺地域での多様な取り組みを推進していく。これにより、更なる地域の防災性向上と賑わい創出に繋げるとともに、本公園が公園の新たな価値創造に寄与することを期待する。



Beaconによる園内人流調査結果(平均来園者数)



人々で賑わう園内

人が輝く都市をめざして



都市再生

民間事業者や地方公共団体と協力し、都市の国際競争力強化や地方都市の活性化、密集市街地の整備改善など、政策的意義の高い事業の実施により、都市再生を推進します。



賃貸住宅

約72万戸の賃貸住宅を適切に管理するとともに、少子高齢化に対応し、幅広い世代や多様な世帯が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちの実現を進めています。



災害復興

阪神・淡路大震災以降に培ってきた復旧・復興の経験を生かして、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害からの復旧・復興を全力で推進しています。

URの都市再生パンフレット「URの都市再生概要（R元.12）」より抜粋

UR都市機構の2つの公園事業 —全国に豊富な実績を有しています—

都市公園受託事業

UR都市機構が設計から工事まで、都市公園の整備に関する業務を地方公共団体に代わって実施します。

防災公園街区整備事業

UR都市機構が事業用地を機動的に取得し、周辺のまちづくりと併せて防災公園を整備します。

〔防災公園街区整備事業〕

西ヶ原みんなの公園（東京都北区）

①防災性向上

⑥未利用地活用

大学跡地を活用した、密集市街地の防災機能の強化

密集市街地内の大学跡地において、北区のまちづくり方針と周辺市街地の状況を踏まえ、区とともに土地利用計画を作成。避難場所となる防災公園の整備・道路拡幅を行うとともに、公園の隣接部において福祉施設等を誘致、安全で災害に強いまちづくりを推進しました。



◆（左から）防災公園の様子、道路拡幅の様子（左：整備前、右：整備後）

〔都市公園受託事業〕

羽黒中央公園（愛知県犬山市）

①防災性向上

②老朽化施設更新

市立体育館の移転・建替えと新たな公園整備を一体的に推進

市の課題であった老朽化した体育館の移転・建替えと、スポーツ・レクリエーション・防災の拠点としての公園整備を一体的に実施しました。



◆新築された体育館

民間活用（P-PFI等）の取り組み —民間の優良な投資を誘導し公共の財政負担を軽減します—

〔防災公園街区整備事業〕

安満遺跡公園（大阪府高槻市）

①防災性向上

⑦民間活用

公園の拠点となる「パークセンター」の中に、全天候型の「子どもの遊び施設」の導入を計画。高槻市が「子どもの遊び施設」の管理運営を行う民間事業者を募集し、URは管理運営事業者として選定された(株)ボーネルンドと協議のうえ、パークセンターの整備を実施しました。（令和3年3月 全面開園）



◆左：空撮、右：メインエントランス

〔防災公園街区整備事業〕

造幣局跡地（東京都豊島区）

①防災性向上

⑦民間活用

維持管理・運営を見据えた公園計画立案を行うため、民間事業者との意見交換を経て、公園施設の設計、工事、管理運営を一体的に行う事業者コンソーシアムを豊島区とURの共同公募により選定。併せて区が、公募対象公園施設の設置・管理を行う事業者を選定（P-PFI）することにより、都市公園の質の向上を図り、新たなにぎわいを生み出す公園づくりを進めています。

〔防災公園街区整備事業〕

うめきた2期（大阪府大阪市）

①防災性向上

⑦民間活用

まちづくりの方針が目指す「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現のため、都市公園を含めた一体的なまちづくりを行う開発事業者を募集し、関西ひいては我が国に新たな国際競争力をもたらすまちづくりを進めています。

としまみどりの防災公園
（イケ・サンパーク）
R2.12に全面開園！

URの都市再生パンフレット「UR都市機構の公園事業（R2.4）」より抜粋

まち全体が舞台の 誰もが主役になれる 劇場都市

豊島区は、昭和7年に現在の区域に誕生しました。

都内屈指の繁華街・池袋、元気なお年寄りが集う巣鴨、緑豊かで閑静な住宅街・著名な漫画家を数多く輩出した椎名町など、魅力的な文化の集うまちです。

令和2年度に内閣府から、東京初の「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」にW 選定され、自治体モデル事業の第1弾として、としまみどりの防災公園(イケ・サンパーク)で「IKE・SUNPARK Farmars Market」を開催し、人々の交流の場として盛り上がりを見せています。これからも、誰もが安心して暮らせるまち、世界に開かれた「国際アート・カルチャー都市」実現に向けたまちづくりを進めていきます。



Hareza 池袋

・面積…13.01km²
(23区中18位)
・人口…288,563人
(令和4年10月1日時点)
・人口密度…22,180人/km²
(日本一の高密度都市)



巣鴨地蔵通り商店街



トキワ荘マンガミュージアム



「IKE・SUNPARK Farmars Market」

公園がまちを変える！4つの公園を核としたまちづくり

「池袋駅周辺4つの公園を核としたまちづくり」は、「自治体 SDGs モデル事業」として選定されました。

4つの公園を電気バスがつなぎ、周辺の文化施設や地元企業などと連携することで「ウォーカブルなまちづくり」に寄与しています。

4つの公園がまちを変える

公園が街を変える！

まちの回遊性向上



工業デザイナー水戸岡鋭治氏
デザイン「IKEBUS」

公園を活用した
賑わい創出



南池袋公園でのマルシェ

「IKEBUKURO LIVING LOOP」

春・夏・秋・冬をとおして多彩なイベントを展開

● アート・カルチャー活動の拠点「アート・カルチャー・ハブ」の核となる4つの公園

2019・11 リニューアル
あらゆるにぎわいが生まれる駅近空間

■池袋西口公園 (GLOBAL RING)
・ふくろ祭り、東京よさこい、フラフェスタ
・クラシックコンサート、観劇
・東京芸術劇場との連携



2016・4 リニューアル
人気沸騰！芝生広場が心地よい

■南池袋公園
・仮設の野外ステージ、能舞台
・新能、日本舞踊など、日本の伝統
芸能を発信



2019・9 リニューアル
Hareza池袋の前庭空間

■中池袋公園
・アニメの聖地、コスプレイベント
・Hareza池袋の8つの劇場との連携
・アニメカフェ

2020・12 グランドオープン
区内最大規模の防災公園

■としまみどりの防災公園
・災害時の一時避難場所
・災害対策用深井戸、応急給水槽
・最大規模を活かしたイベント
・愛称名：IKE・SUNPARK

としまみどりの
防災公園
17,000m²



日比谷アメニスはこちらにやさしい環境を求めて
快適空間を創造しゆとりある社会の実現に向けて努めます

株式会社日比谷アメニス

代表取締役 伊藤 幸男

コーポレートメッセージ 「みどりと夢をみる」

事業内容 公園・緑地等の施工管理、屋上・壁面・室内などの特殊環境緑化、公園・緑地等のメンテナンス、公園・スポーツ施設等における管理運営、バイオマス利活用に関する事業、公園・緑地等の維持管理・運営に関するコンピュータシステム開発、緑や花、環境を基軸としながら快適な人と空間との関わりを提言する事業



都市計画研究所
TOSHIKEIKAKU KENKYUJO Co., Ltd.
TOWN & CITY PLANNERS, INC.

株式会社都市計画研究所

代表取締役社長 佐藤 憲璋

企業理念 今世紀は「環境の時代」です。当研究所は、人と自然や風土・文化を踏まえたみどり（都市緑地）の創造を目指し、調査研究・基本計画・基本設計・実施設計等の業務を行います。



株木建設株式会社

代表取締役社長 株木 康吉

土木事業 巨大災害の切迫による防災対策や、インフラ老朽化対策等を推進するとともに、時代の潮流を見据え、様々な課題に対し適切な提案を行い、社会インフラの充実を目指してまいります。

建築事業 お客様の利便性・満足度を第一に追求し、真に望まれる耐震性・デザイン性・省エネ性など満足していただける建築物を、これまでに培った経験と設計・施工技術で提供し、快適な都市空間・環境整備に貢献してまいります。



NTTアーバンバリューサポート

代表取締役社長 北村 美樹浩

ミッション 地域に寄り添い、街の多様なバリューの向上と持続的な発展に貢献する

事業内容 「街づくりの総合的なマネジメント」「タウンマネジメントへの取り組み」

プロパティマネジメント、コンストラクションマネジメント、リーシングマネジメント、ビルマネジメント、エネルギーマネジメント、ICTマネジメント、エリアマネジメント